

株式会社ニコン

2006年3月期 中間決算説明会 2005年11月14日

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2006年3月期 中間決算の概況

II . 参考データ

III . 2006年3月期の見通し

IV . 2007年3月期の予測

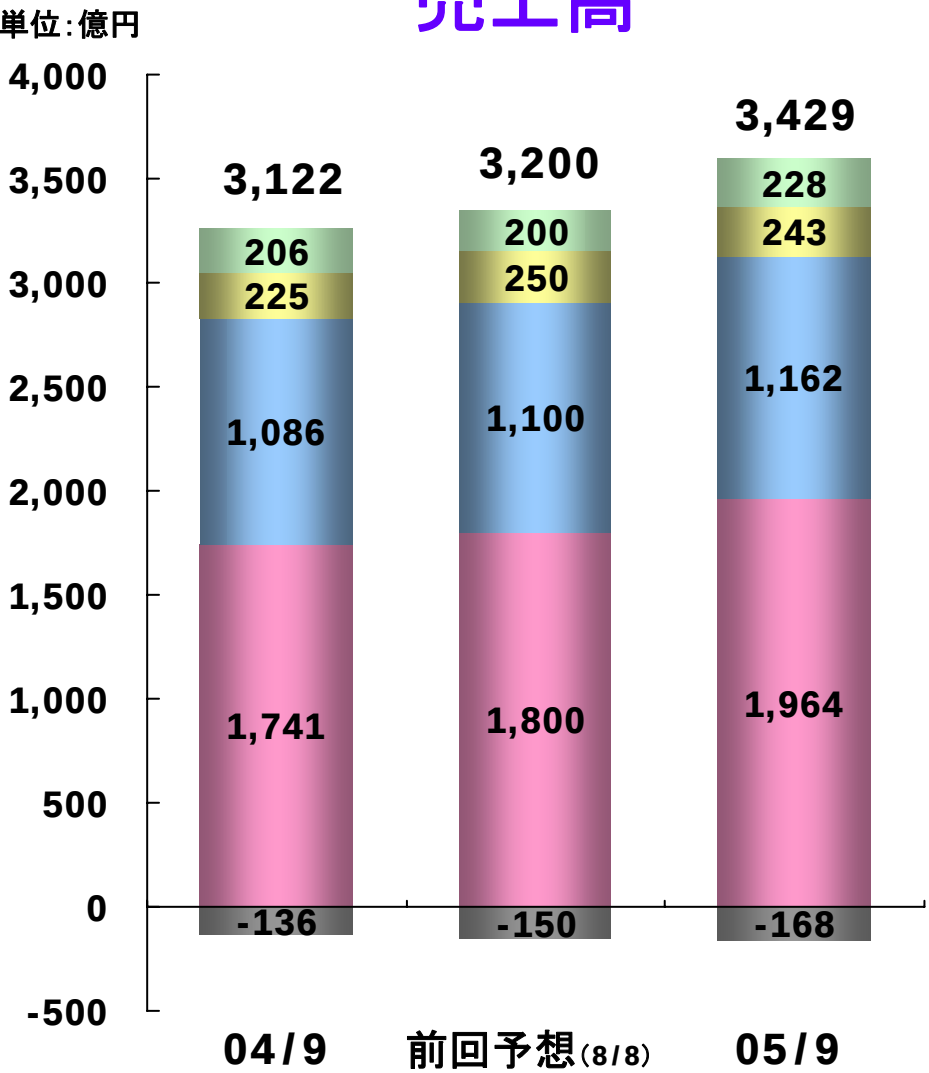
2006年3月期中間実績 連結売上高・損益

単位: 億円	05年3月期 中間実績	2006年3月期中間			
		前回予想(8/8)	実績	前期比増減	予想比増減
売上高 (売上比)	3,122 100%	3,200 100%	3,429 100%	+ 307	+ 229
営業利益 (売上比)	81 2.6%	190 5.9%	284 8.3%	+ 203	+ 94
経常利益 (売上比)	47 1.5%	140 4.4%	201 5.9%	+ 154	+ 61
当期利益 (売上比)	78 2.5%	70 2.2%	94 2.7%	+ 16	+ 24

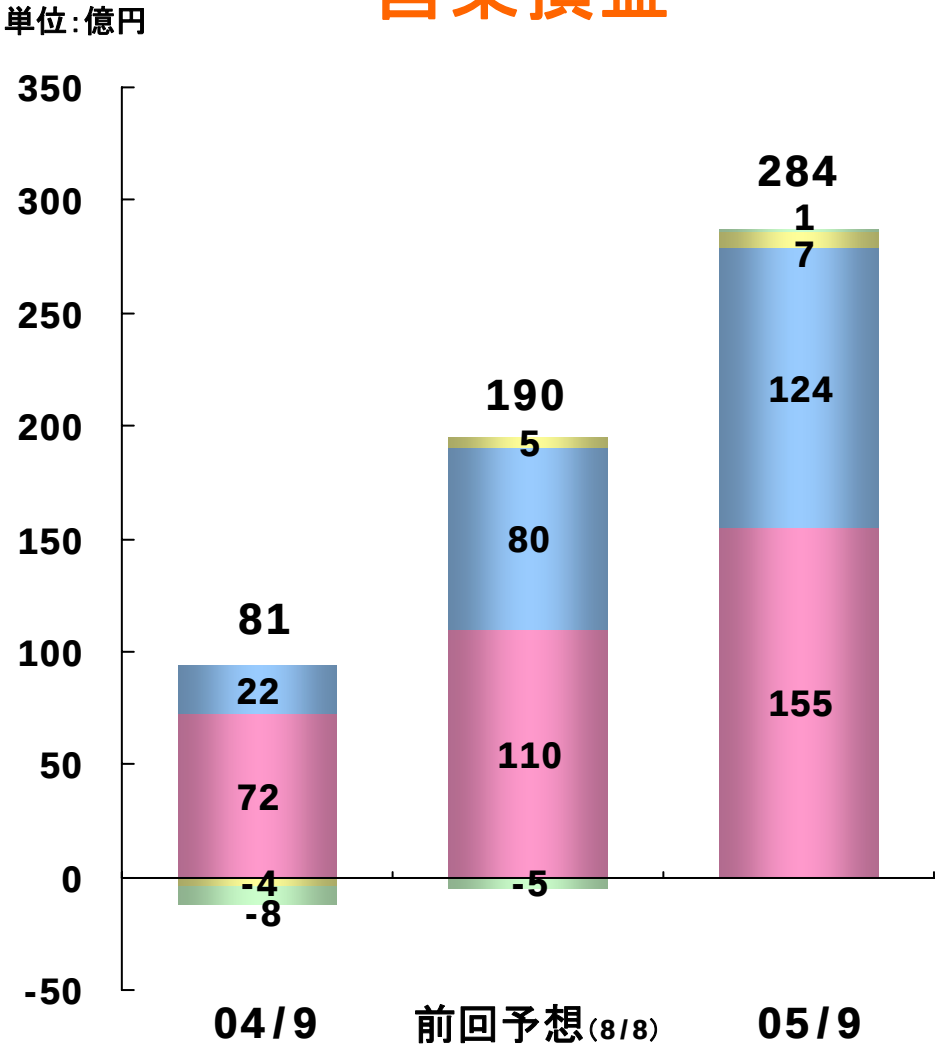
* スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。

2006年3月期中間実績セグメント別売上高・損益

売上高



営業損益



映像カンパニー

精機カンパニー

インストルメンツカンパニー

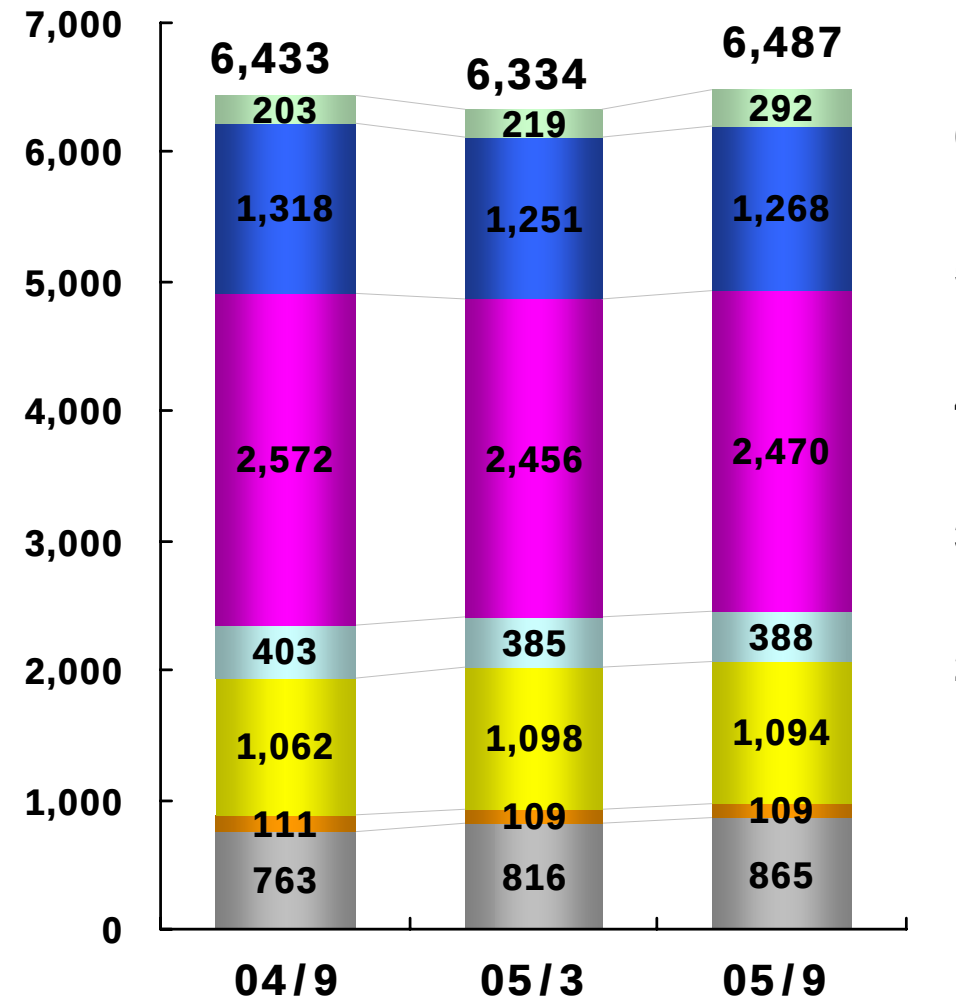
その他

カンパニー間消去

2006年3月期中間実績 B/S内訳

資産

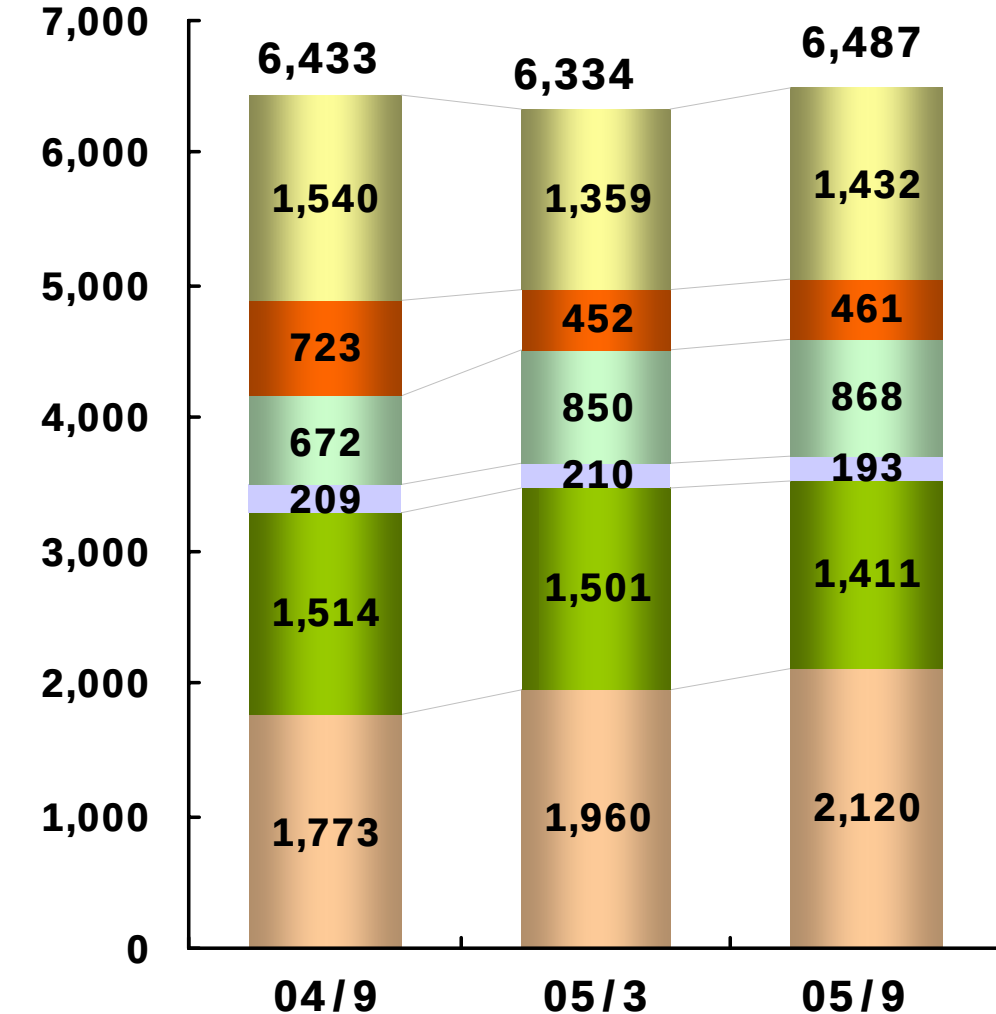
単位: 億円



■ 現預金 ■ 受取手形・売掛金 ■ たな卸資産 ■ その他流動資産
■ 有形固定資産 ■ 無形固定資産 ■ 投資その他資産

負債・資本

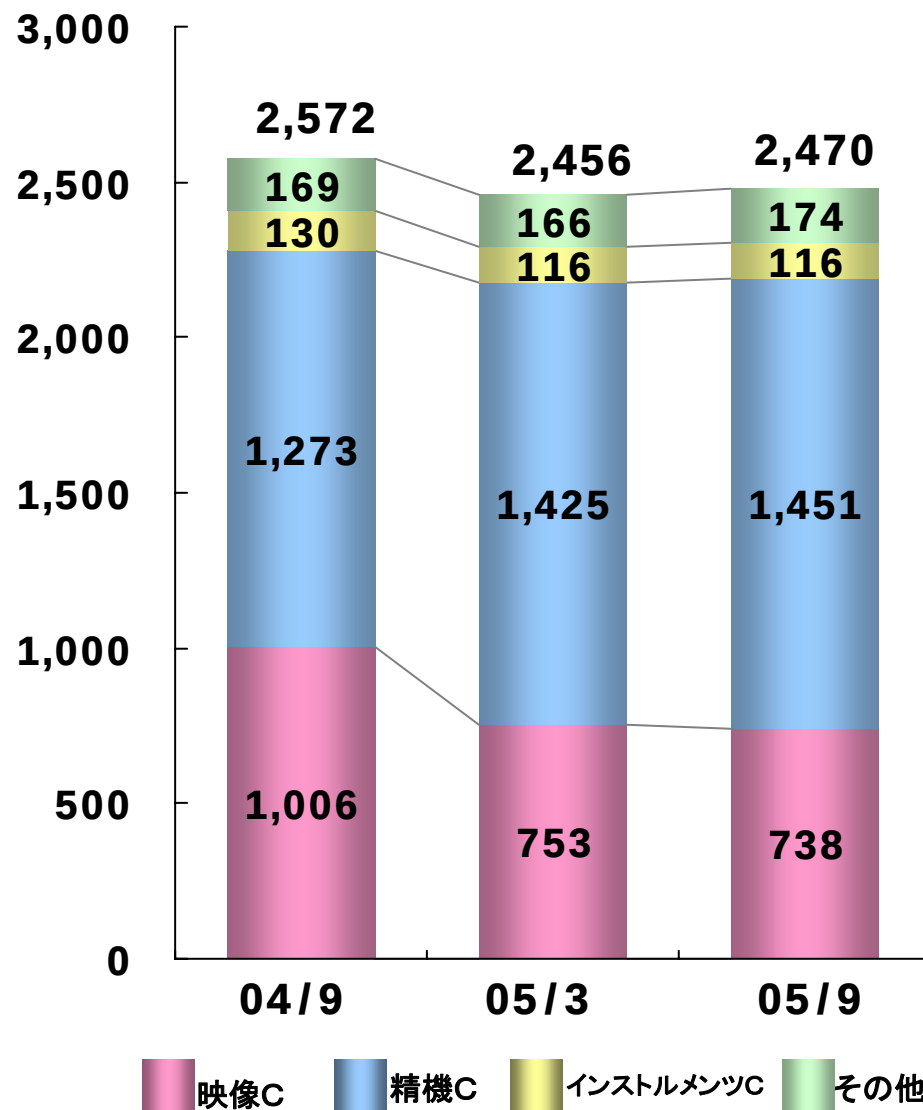
単位: 億円



■ 支払手形・買掛金 ■ 短期借入金・一年以内返済社債
■ その他流動負債 ■ その他固定負債 ■ 社債・長期借入金
■ 株主資本

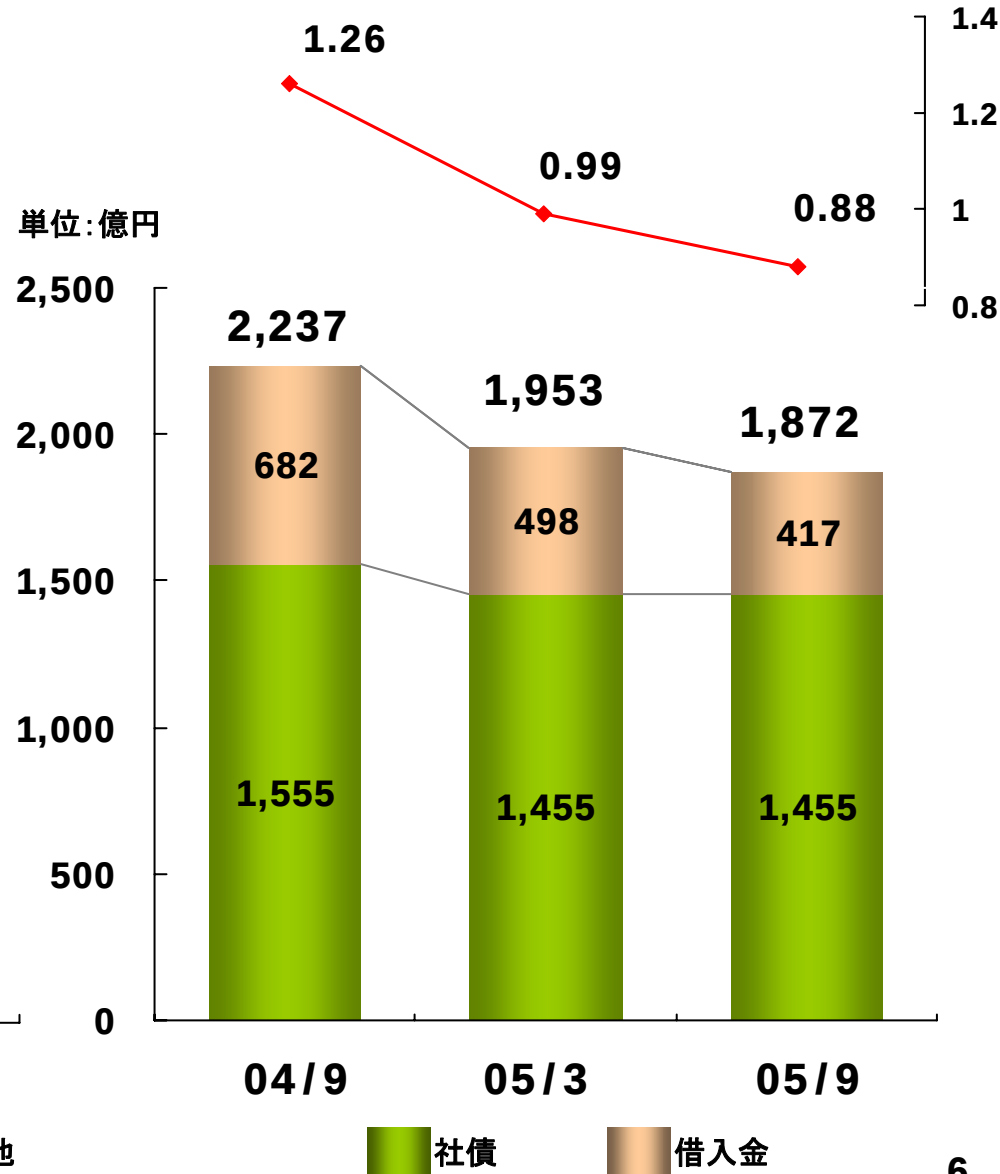
棚卸資産

単位: 億円



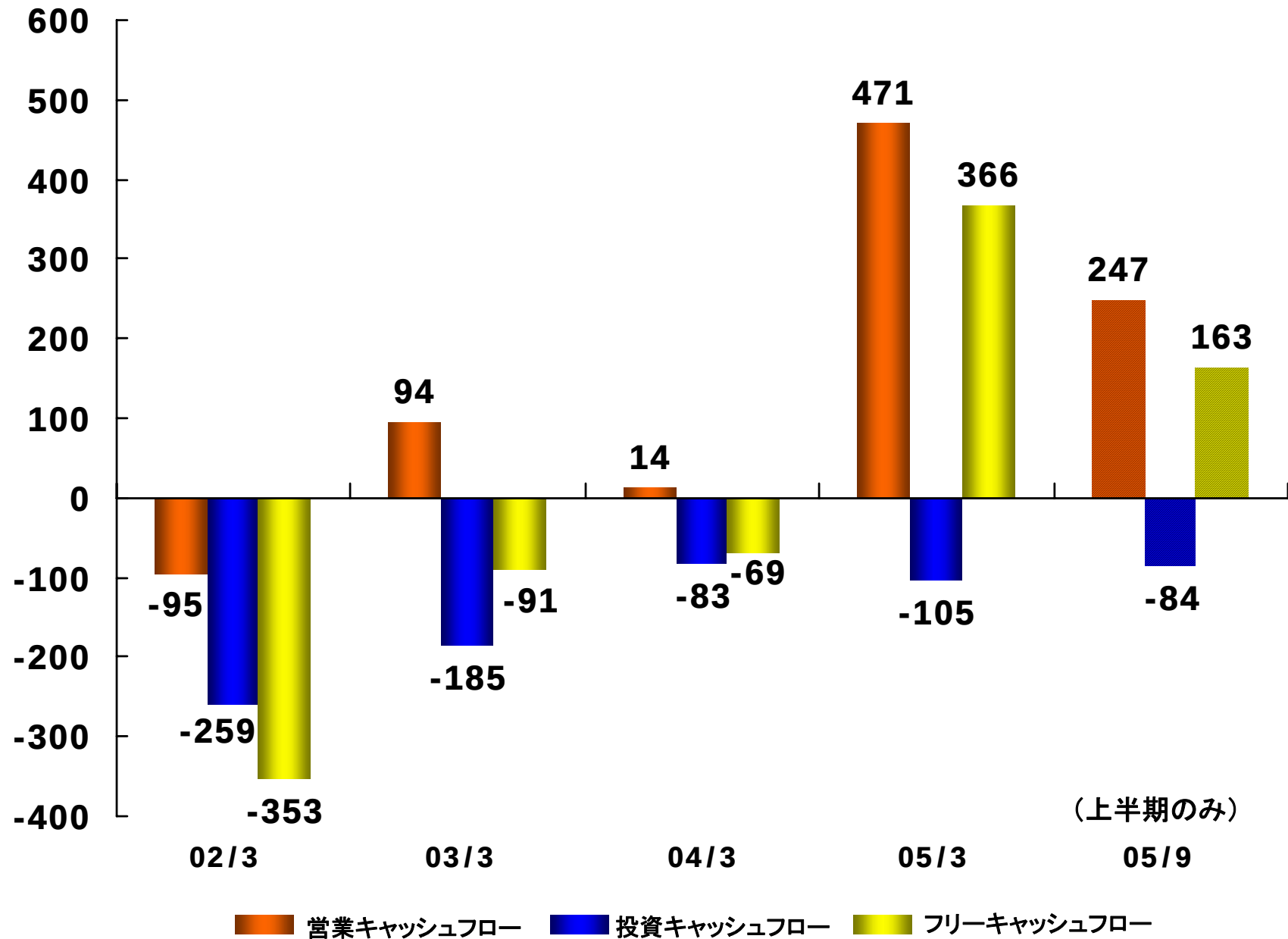
有利子負債とD・Eレシオ

単位: 倍



2006年3月期中間実績 キャッシュフロー

単位:億円

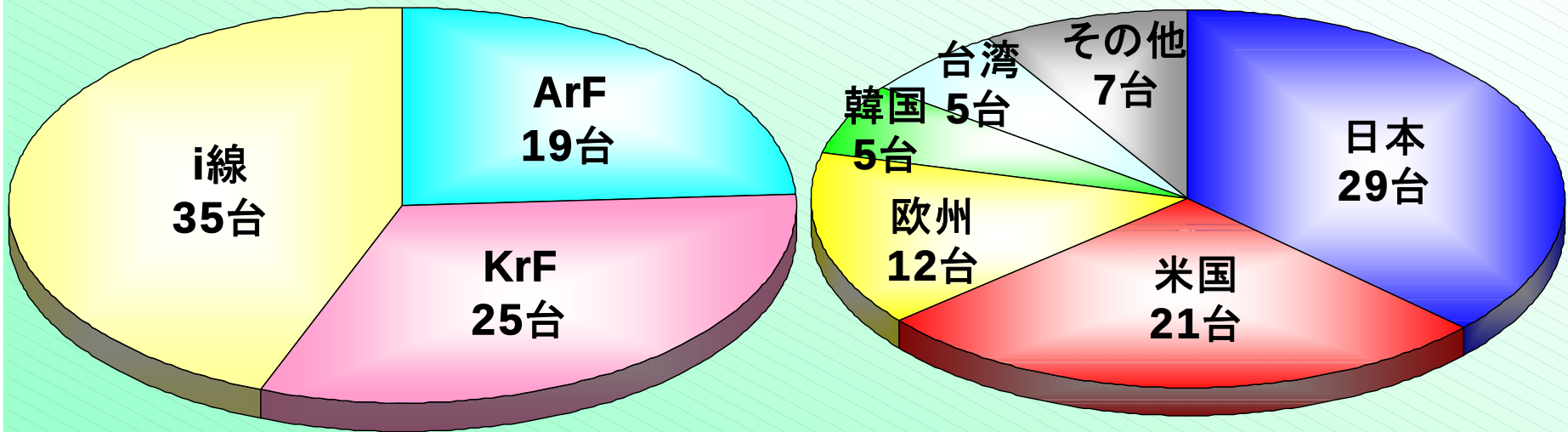




	04年9月 中間期実績	前回予想 (8/8)	05年9月 中間期実績
売上高	1,086 億円	1,100 億円	1,162 億円
営業利益	22 億円	80 億円	124 億円
ICステッパー新品 (中古)	109(34) 台	85(20) 台	79(12) 台
液晶ステッパー	40 台	35 台	37 台
合計台数	183 台	140 台	128 台

ICステッパー: 光源 & 地域別販売台数

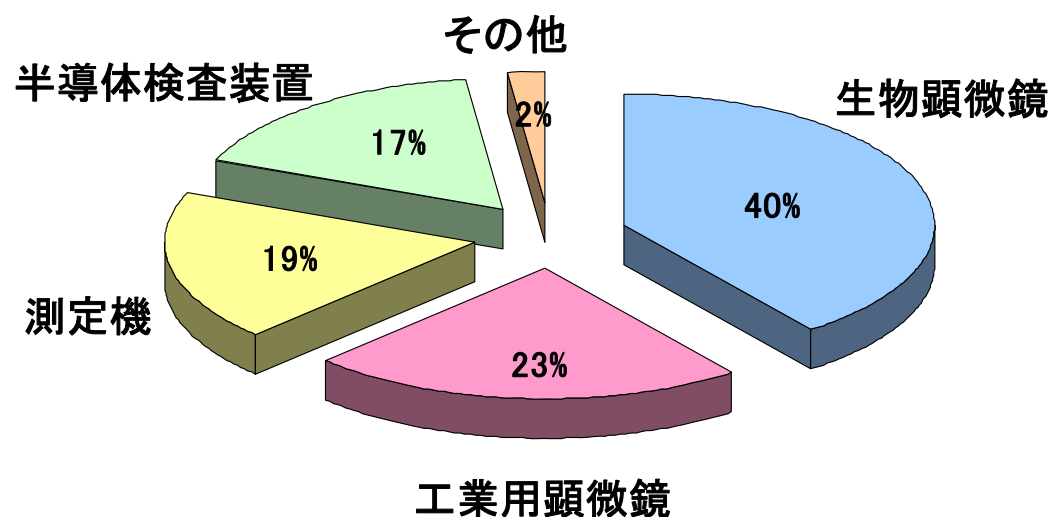
79台【新品のみ】





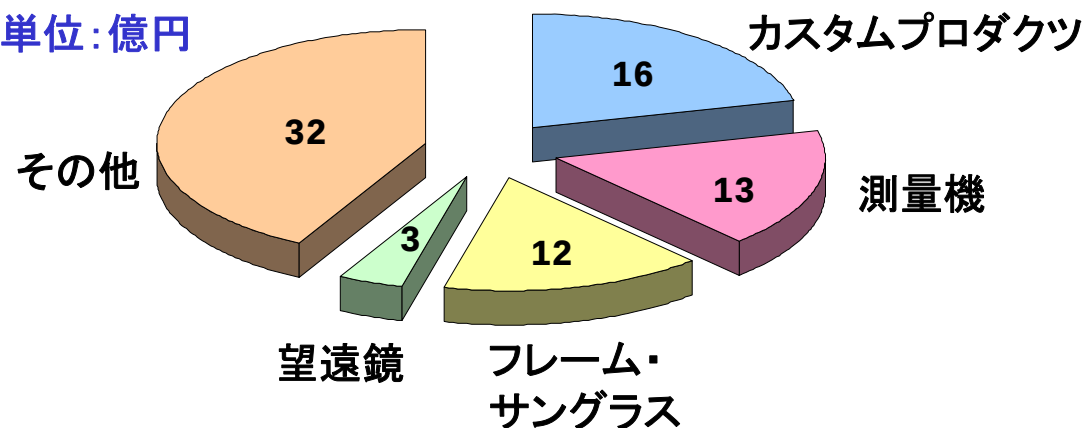
	04年9月 中間期実績	前回予想 (8/8)	05年9月 中間期実績
売上高	1,741 億円	1,800 億円	1,964 億円
営業利益	72 億円	110 億円	155 億円
D-SLR	50 万台	80 万台	79 万台
C-DSC	300 万台	310 万台	341 万台
DSC合計	350 万台	390 万台	420 万台
交換レンズ	74 万本	115 万本	118 万本

	04年9月 中間期実績	前回予想 (8/8)	05年9月 中間期実績
売上高	225 億円	250 億円	243 億円
営業利益	-4 億円	5 億円	7 億円



	04年9月 中間期実績	前回予想 (8/8)	05年9月 中間期実績
売上高	206 億円	200 億円	228 億円
営業利益	-8 億円	-5 億円	1 億円

単位: 億円



注: チャートは、外部顧客に対する売上高76億円の内訳です

◆ 増収大幅増益。 中間決算としては過去最高

- ・ 中間決算としては、売上高・営業利益・経常利益・当期利益すべて過去最高を更新
- ・ 映像事業では、D2x,D70sなど高価格帯のD-SLRが予想以上に伸び、更に独自のフェイスクリアー機能（顔認識オートフォーカスなど）やスタイリッシュタイプでC-DSCも好調。
精機事業では、簡素化設計などのコスト削減効果が顕現化したほか、液晶ステッパーが増加。
更に円安効果も加わり、前回予想を上回る実績
- ・ 株主資本が2千億円を超え、自己資本比率も32.7%に向上

Agenda

I. 2006年3月期 中間決算の概況

II. 参考データ

III. 2006年3月期の見通し

IV. 2007年3月期の予測

為替

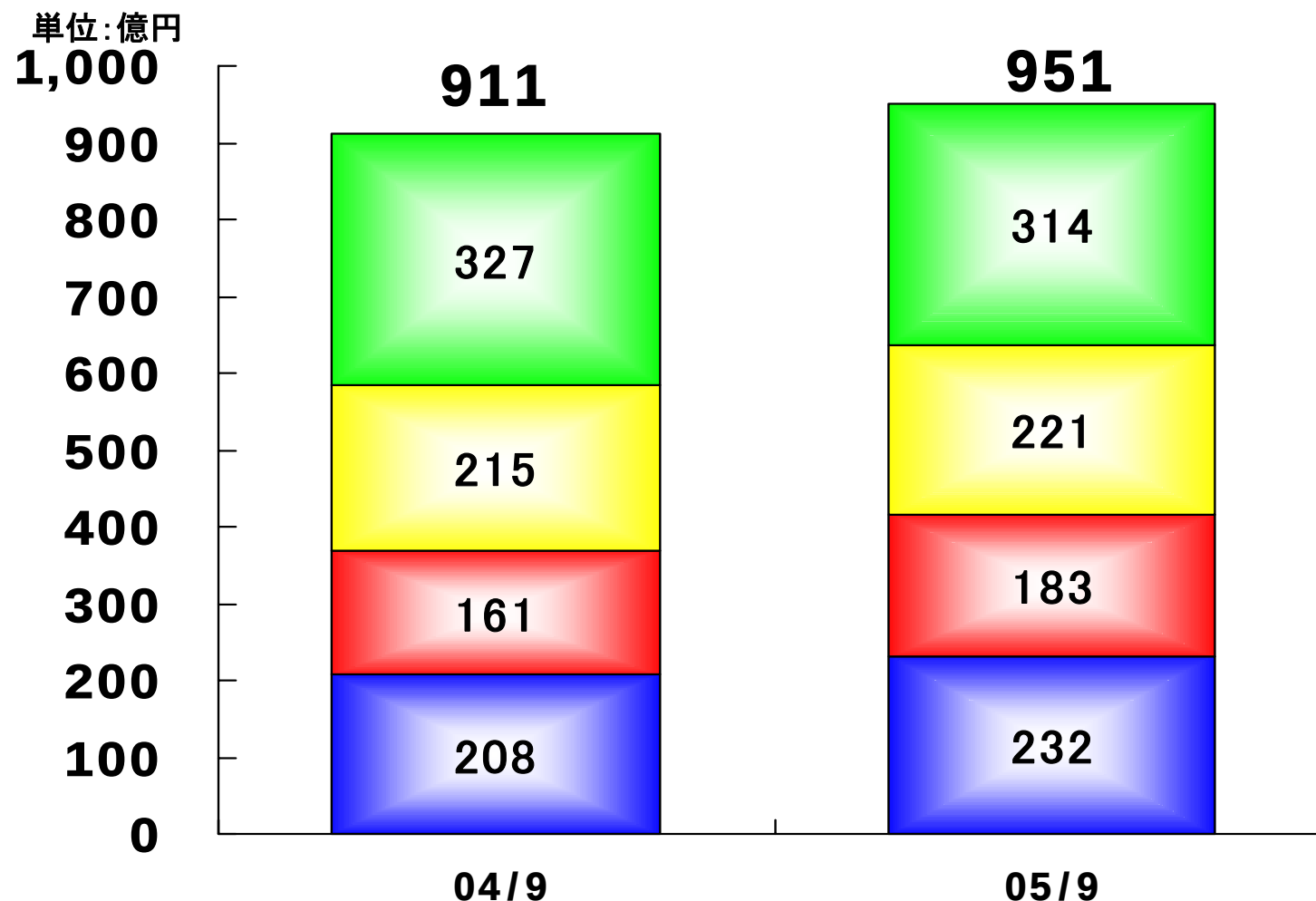
	為替レート		影響額*	
	05年9月 想定	05年9月 実績	売上高	営業利益
USドル	105	113.19	+46億円	+13億円
ユーロ	130	136.13	+18億円	+9億円
合計			+64億円	+22億円

*前回予想に対する影響額

設備投資/減価償却費/研究開発費

	設備投資		減価償却費		研究開発費	
	04/9	05/9	04/9	05/9	04/9	05/9
単位: 億円						
合計	88	113	93	96	161	183
精 機	35	51	42	40	46	56
映 像	42	47	27	32	69	80
インストルメンツ	2	4	5	5	14	14
その他	8	11	19	19	32	32

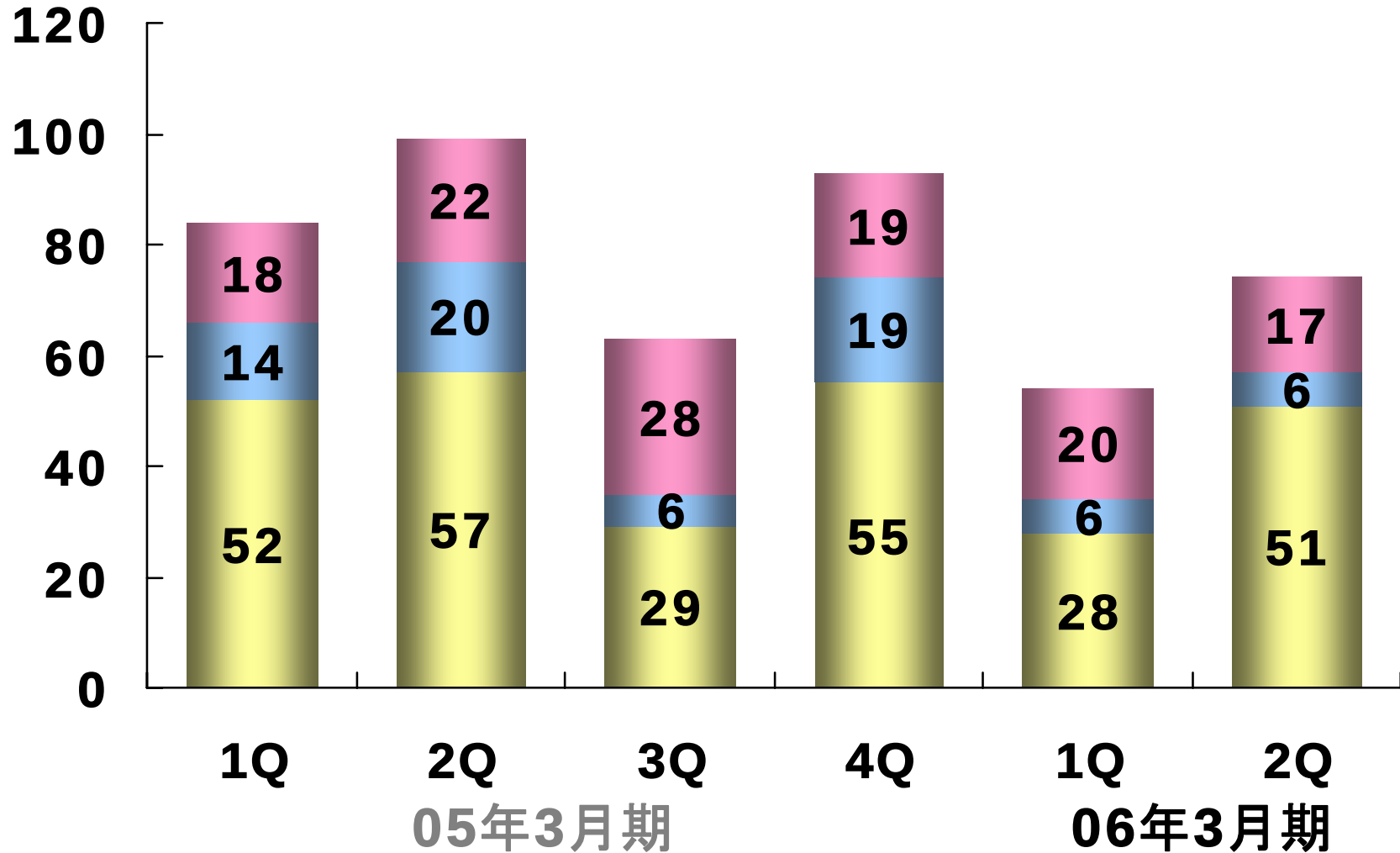
販売費及び一般管理費の内訳



■ 労務費
 ■ 研究開発費
 ■ 広告宣伝費
 ■ その他
 (販促費含む)

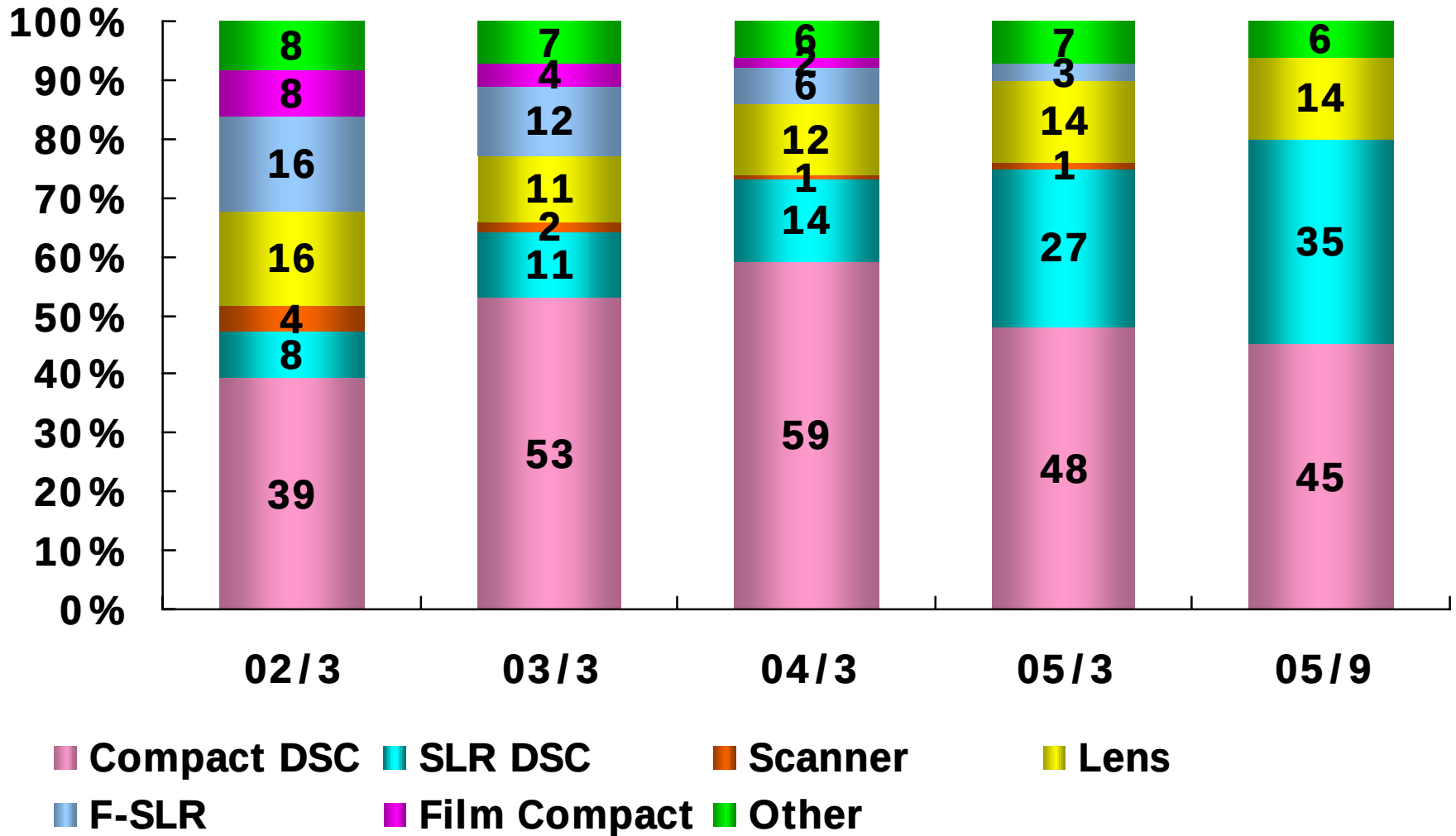
ステッパー販売台数の推移

単位: 台



■ IC新品 ■ IC中古 ■ LCD

映像カンパニー 製品別売上高比率推移



Agenda

I. 2006年3月期 中間決算の概況

II. 参考データ

III. 2006年3月期の見通し

IV. 2007年3月期の予測

2006年3月期連結売上高・損益 見通し

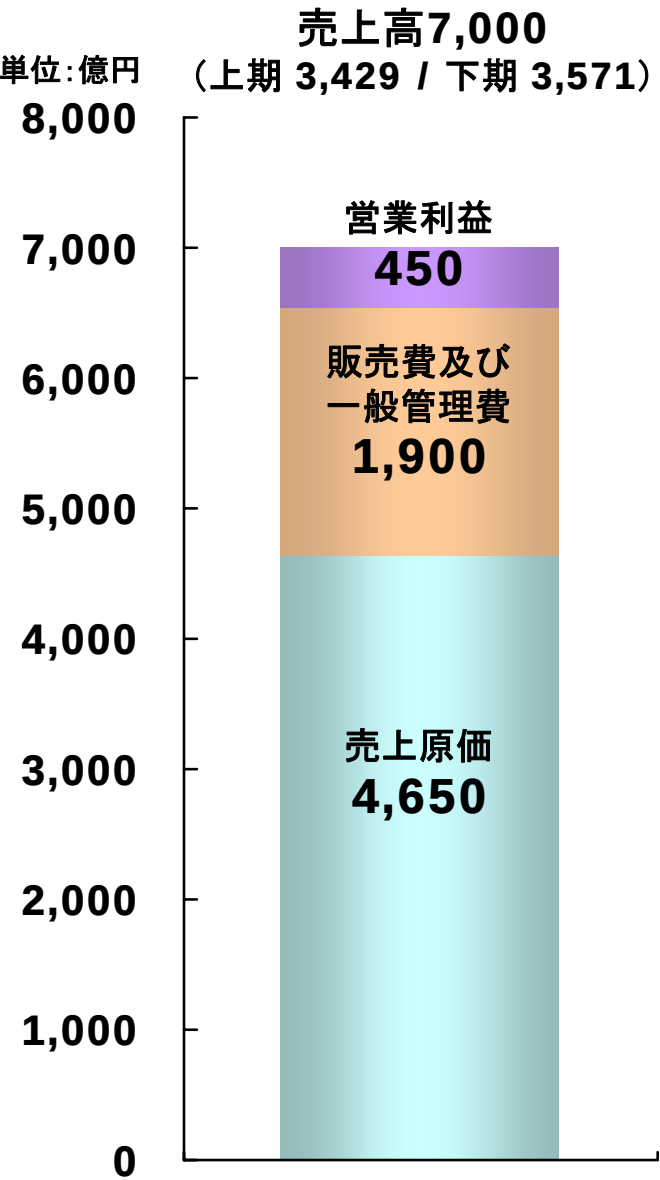
株式会社ニコン
コーポレートセンター広報・IR部
2005年11月14日



単位：億円

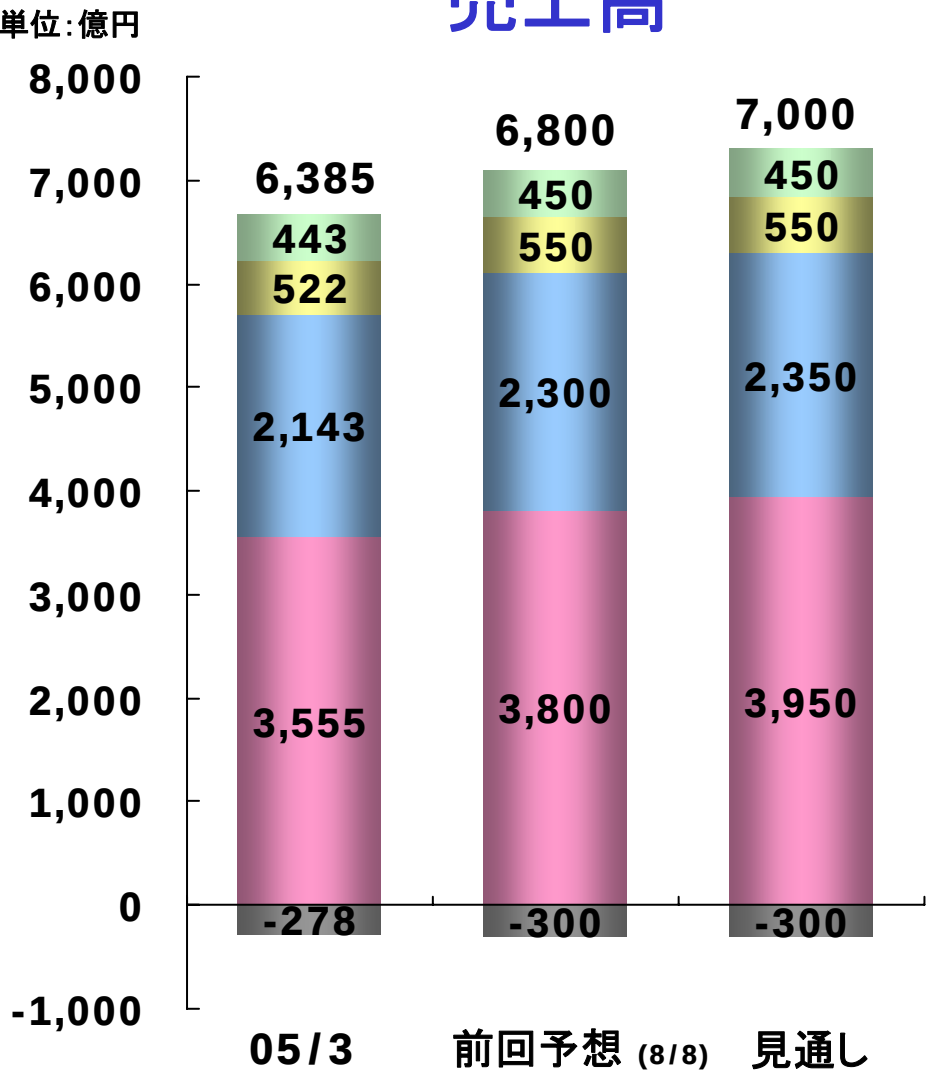
	05年3月期 実績	前回予想 (8/8)	06年3月期 見通し	前期比 増減	予想比 増減
売上高 (売上比)	6,385 100%	6,800 100%	7,000 100%	+615	+200
営業利益 (売上比)	305 4.8%	360 5.3%	450 6.4%	+145	+90
経常利益 (売上比)	147 2.3%	230 3.4%	290 4.1%	+143	+60
当期利益 (売上比)	241 3.8%	130 1.9%	150 2.1%	-91	+20

	為替レート	1円の変動による影響額	
	06/3 前提レート	売上高 (通期)	営業利益 (下期)
USドル	105	約19億円	約3億円
ユーロ	130	約10億円	約2億円

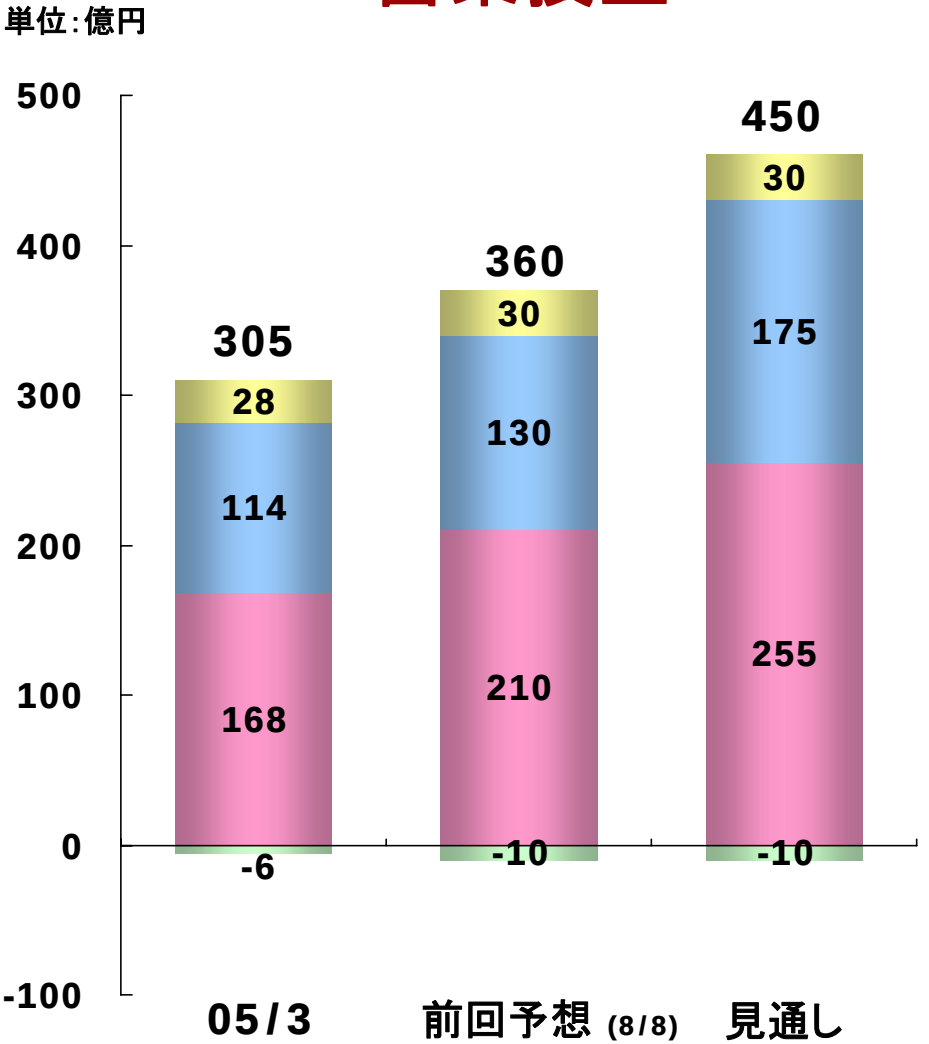


単位: 億円		05年3月期 実績		06年3月期 見通し	
営業利益	上期	305	81	450	284
	下期		224		166
営業外収益		48		40	
営業外費用		206		200	
経常利益	上期	147	47	290	201
	下期		100		89
特別損益		188		-40	
法人税等		93		100	
当期利益	上期	241	78	150	94
	下期		163		56

売上高



営業損益



映像カンパニー

精機カンパニー

インストルメンツカンパニー

その他

カンパニー間消去

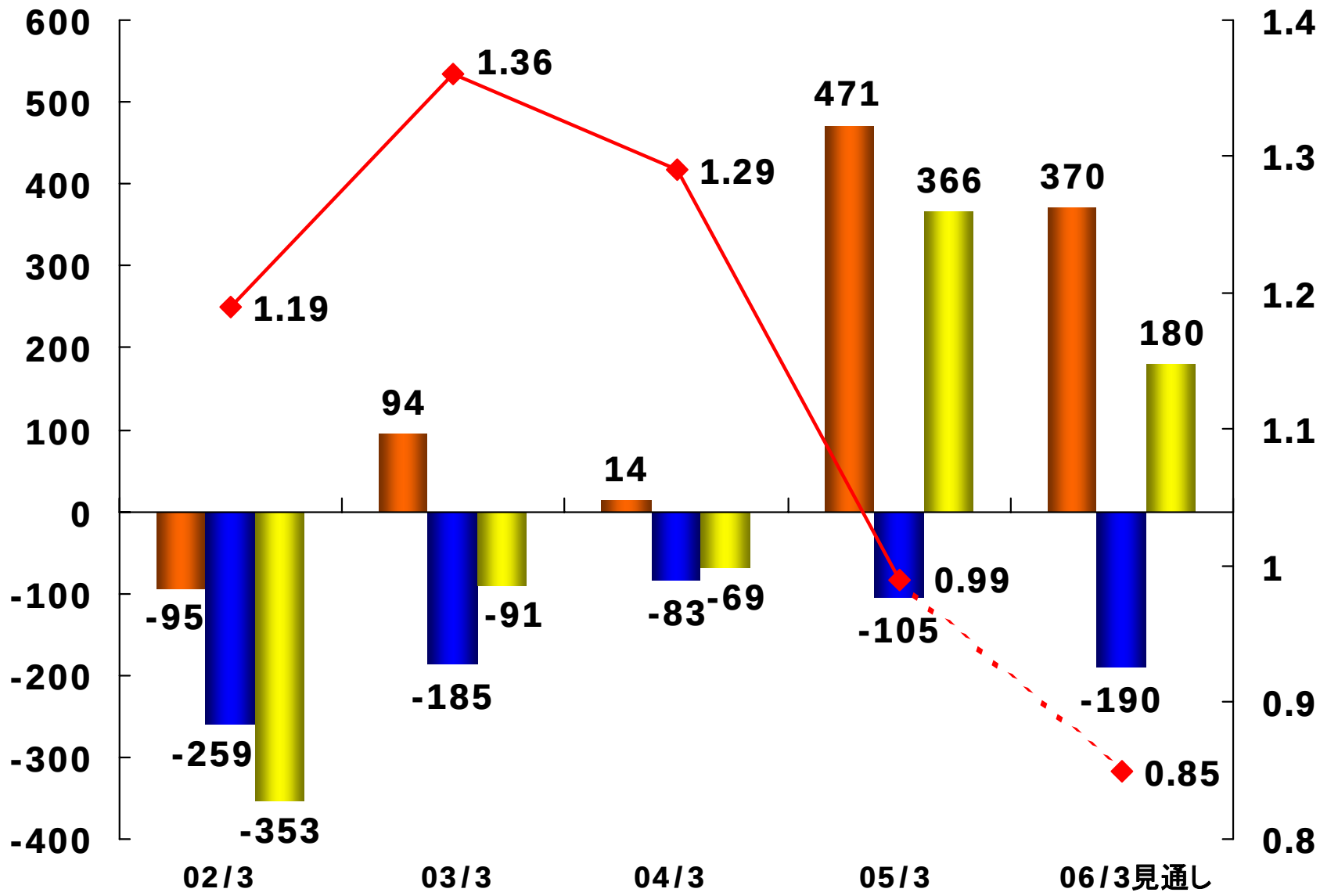
【設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債】

単位：億円	04/3	05/3	06/3
設備投資	223	225	250
減価償却費	202	197	200
研究開発費	302	336	380
有利子負債	2,205	1,953	1,850

～キャッシュフロー重視の連結経営を徹底～

単位:億円

単位:倍

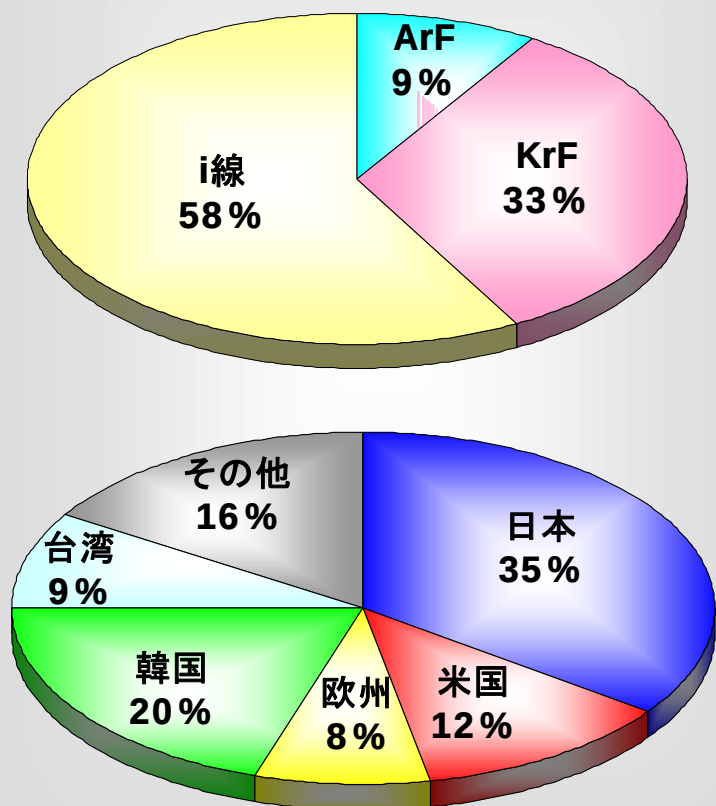




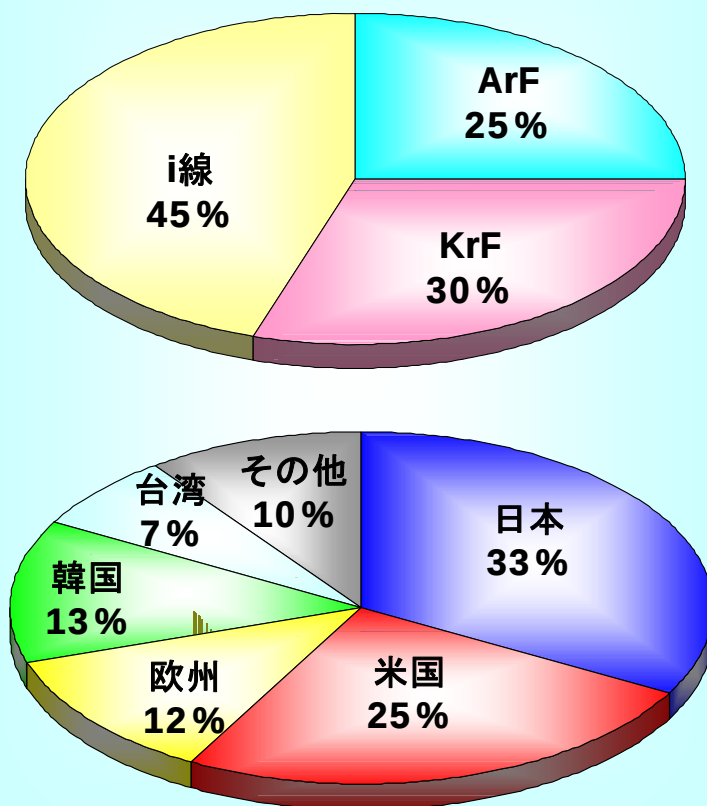
		05年3月期 実績	上期 下期	06年3月期 見通し	上期 下期
売上高		2,143 億円	1,086 1,057	2,350 億円	1,162 1,188
営業利益		114 億円	22 92	175 億円	124 51
ICステッパー新品 (中古)		193(59) 台	109(34) 84(25)	170(40) 台	79(12) 91(28)
液晶ステッパー		87 台	40 47	65 台	37 28
合計台数		339 台	183 156	275 台	128 147
市場規模 CY04/05	ICステッパー新品	558台		450台	
	液晶ステッパー	174台		前年並み	

ICステッパー：光源 & 地域別販売比率

05年3月期実績 193台(新品のみ)



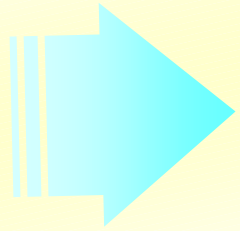
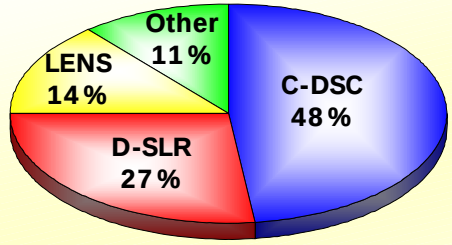
06年3月期見通し 170台(新品のみ)



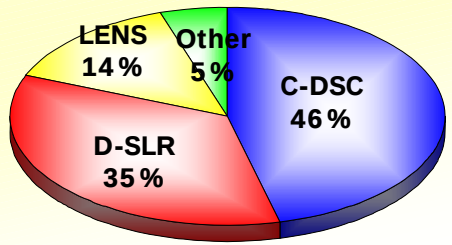
2006年3月期見通し 映像カンパニー

		05年3月期 実績	上期 下期	06年3月期 見通し	上期 下期
売上高		3,555 億円	1,741 1,814	3,950 億円	1,964 1,986
営業利益		168 億円	72 96	255 億円	155 100
D-SLR		105 万台	50 55	160 万台	79 81
C-DSC		556 万台	300 256	640 万台	341 299
DSC合計		661 万台	350 311	800 万台	420 380
交換レンズ		150 万本	74 76	220 万本	118 102
市場規模 FY	コンパクトDSC D-SLR	5,752万台 276万台		6,300万台 400万台	

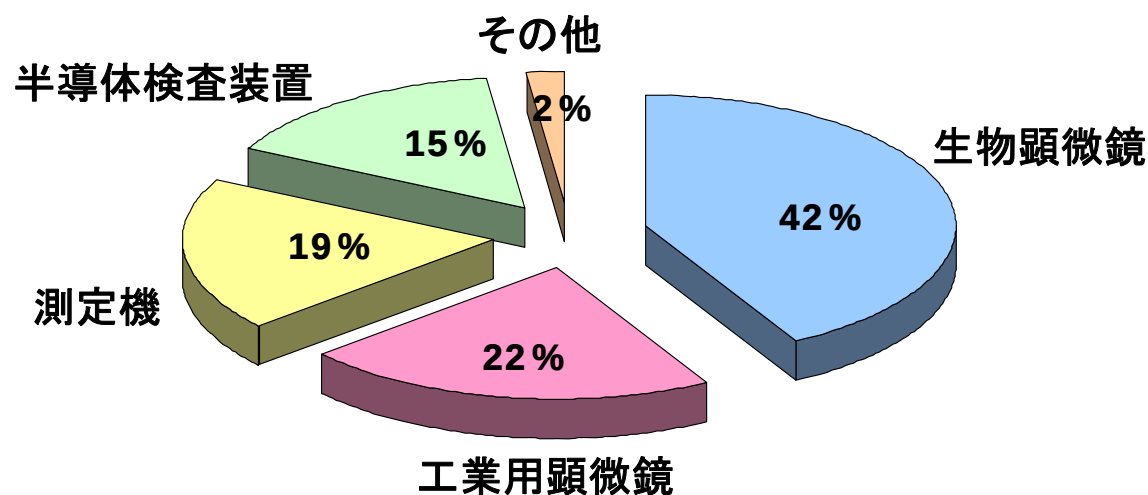
2005年3月期実績



2006年3月期見通し

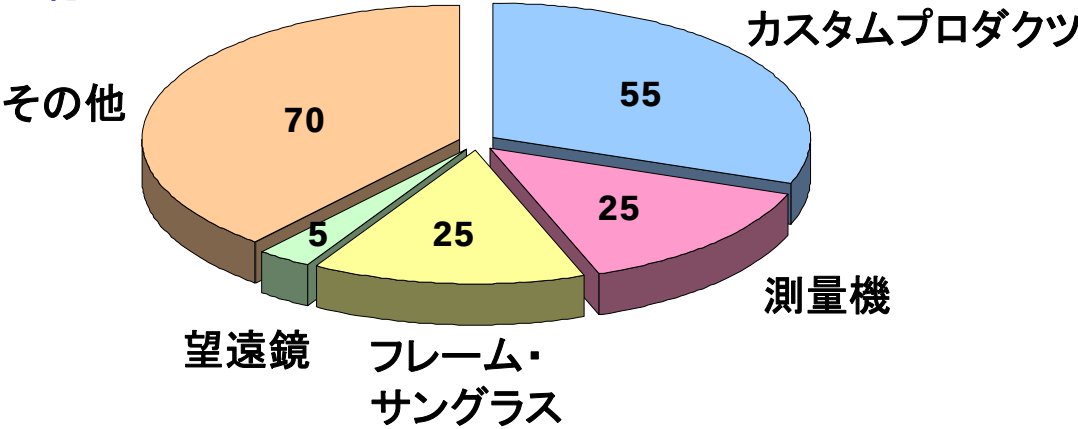


	05年3月期 実績	上期	06年3月期 見通し	上期
		下期		下期
売上高	522 億円	225 297	550 億円	243 307
営業利益	28 億円	-4 32	30 億円	7 23



	05年3月期 実績	上期	06年3月期 見通し	上期
		下期		下期
売上高	443 億円	206 237	450 億円	228 222
営業利益	-6 億円	-8 2	-10 億円	1 -11

単位: 億円



注: チャートは、外部顧客に対する売上高180億円の内訳です

◆ 営業・経常利益の躍進と、期待の新製品誕生の期

- ・売上高は、精機の高性能機へのシフトと映像のDSC好調が続き過去最高を連続更新の見通し。この売上増とコストダウンが相俟って、営業利益は前期比5割増、経常利益は前期比倍増の見通し
- ・精機：ArFドライの最後の領域 (NA0.85～0.92) では、期初予想以上の販売見込み。世界初のNA1.0を超える液浸モデルの出荷を開始、市場ポジションを更に強固にする。一方液晶では、世界最大のプレートサイズに対応する、第7、第8世代装置の販売を開始。マルチレンズ方式の優位性を更に拡大
- ・映像：C-DSCで世界初のフェイスクリアー・Wi-Fi機能搭載機を発売し、好評。一方、D-SLRでは、12月にハイアマチュアからプロフェッショナル向けの「D200」を発売、前評判は極めて上々
- ・インストルメンツ：バイオ関連で、「ライブセル（生きた細胞）」の観察に威力を発揮する、スペクトルイメージング共焦点レーザ顕微鏡「C1si」を発売

Agenda

I . 2006年3月期 中間決算の概況

II . 参考データ

III . 2006年3月期の見通し

IV . 2007年3月期の予測



精機カンパニー

	ICステッパー	液晶ステッパー	
市場予測	05年並み	05年並み	(暦年)
販売台数予想	05年度並み	05年度並み	
売上高	増収		
営業利益	増益		

映像カンパニー

	C-DSC	D-SLR
市場予測	6,600～6,900万台	500～550万台
出荷台数予想	今期比1割増	今期比2割増
売上高	増収	
営業利益	増益	

インストルメンツ
カンパニー

売上高	増収
営業利益	増益